

# 検討にあたってのたたき台

## 研修プログラム弾力化により考えられる研修プログラムの例①

### 1. 現在と同様の研修プログラム

1年目

2年目

内科 6月	外科3月	救急3月	麻酔科 1月	産婦人科 1月	小児科 1月	精神科 1月	地域医療 1月	選択科目 7月  * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する
-------	------	------	-----------	------------	-----------	-----------	------------	---

### 2. 2年目に将来専門とする診療科で研修を行う研修プログラム

1年目

2年目

内科 6月	救急3月	選択必修 3月 (2科目で3月)	地域医療 1月	将来専門とする診療科を中心に 関連の診療科での研修 11月  * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する
-------	------	------------------------	------------	---

## 研修プログラム弾力化により考えられる研修プログラムの例②

### 3. 研修開始時から将来専門とする診療科(例えば外科)で研修を行う研修プログラム

1年目

2年目

(例)外科 3月	内科 6月	救急3月	地域 医療 1月	(例)麻酔科 3月	(例)外科 8月
-------------	-------	------	----------------	--------------	----------

### 4. 選択必修の科目や地域医療を重点的に実施する研修プログラム

1年目

2年目

内科 6月	救急3月	選択必修 3月 (1科目で3月)	選択必修 3月 (1科目で3月)	地域医療 3月	選択科目6月  * あらかじめ研修病院が 選択肢を設定する
-------	------	------------------------	------------------------	------------	--

# 都道府県別募集定員の上限の考え方(たたき台)

## 1. 人口分布

$$\text{全国の研修医総数} \times \frac{\text{都道府県別の人口}}{\text{日本の総人口}}$$

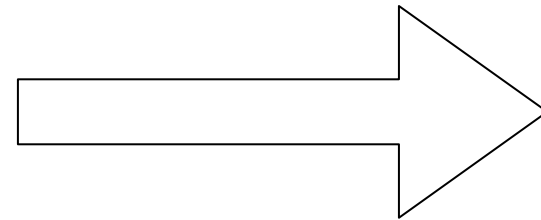
## 2. 医師養成状況

$$\text{全国の研修医総数} \times \frac{\text{都道府県別の医師養成数}}{\text{全国医師養成数}}$$

## 3. 地域的条件等

- ①面積当たりの医師数  
(100平方km当たりの医師数)
- ②離島の人口

研修医の地域的な適正配置を誘導するため、人口分布を始め医師養成規模・地理的条件等を考慮した都道府県別の募集定員の上限を設定する。



都道府県別の募集定員の上限

# 募集定員の設定方法(たたき台)

一般的な設定方法

都道府県の募集定員  
の上限と調整

前年度募集定員

次年度募集定員

超過分調整

過去の採用実績

医師派遣を評価

(例えば、前年度  
の採用実績)

(例えば、10名加算)

(例えば、都道府県内の  
病院の募集定員の合計が  
都道府県の上限を1割  
超えた場合、原則として、  
募集定員を1割削減)

A病院

医師派遣  
あり

30名

20名

30名  
(10名加算)

27名  
(3名削減)

B病院

医師派遣  
なし

12名

10名

10名  
(加算なし)

9名  
(1名削減)

経過措置の考え方について要検討

# 単独型・管理型臨床研修病院の指定基準の強化(たたき台)

## 現 状

協力型臨床研修病院・協力施設と共同して以下の事項を満たすこと

### 診療体制

- 内科・外科・小児科・産婦人科・精神科を標榜
- 救急医療を提供していること

### 症例数

- 臨床研修を行うために必要な症例があること  
(以下の症例が確保されていることが望ましい)
  - ・ 救急患者年間5,000件以上
  - ・ 内科・外科・小児科・産婦人科・精神科の年間入院患者100人以上(外科は1人当たり50人以上)
  - ・ 分娩数年間350件又は1人当たり10件以上
- CPCを適切に開催していること

### 指導体制

- 指導医1人が受け持つ研修医は5人までが望ましい
- 内科・外科・小児科・産婦人科・精神科に常勤の指導医を配置

### 施設及び設備

- 臨床研修に必要な図書又は雑誌
- インターネットが利用できる環境
- 研修医のための宿舎及び研修医室、医学教育用 シミュレーターは設置が望ましい

## 強化案

単独型・管理型臨床研修病院が単独で以下の事項を満たすこと

単独型・管理型臨床研修病院として、必要な基準についてどのように考えるか

- 診療体制
- 症例数
- 指導体制
- 施設及び設備

## 研修医の募集定員等について

都道府県	① 20年度 募集定員	② 20年度採 用実績	③ 19年総人 口(万人)	④ 21年度医 学部定員	⑤ 100km <sup>2</sup> 当 たり医師数 (18年)
北海道	504	313	557	327	14.7
青森県	113	63	141	120	27.7
岩手県	112	66	136	110	16.8
宮城県	189	115	235	110	71.6
秋田県	133	63	112	115	19.9
山形県	112	60	120	120	33.2
福島県	144	76	207	100	27.7
茨城県	176	119	297	108	75.6
栃木県	174	126	201	223	64.4
群馬県	158	80	202	110	66.3
埼玉県	306	214	709	190	265.9
千葉県	400	283	610	110	193.4
東京都	1,582	1,338	1,276	1,411	1,697.8
神奈川県	750	584	888	420	651.7
新潟県	156	70	240	120	40.9
富山県	117	54	111	105	94.4
石川県	139	86	117	220	71.2
福井県	86	49	82	110	42.2
山梨県	89	51	88	120	41.7
長野県	204	106	218	110	34.6
岐阜県	170	95	210	100	37.1
静岡県	268	160	380	110	91.8
愛知県	707	446	736	415	274.1
三重県	154	75	188	120	60.5

都道府県	① 20年度 募集定員	② 20年度採 用実績	③ 19年総人 口(万人)	④ 21年度医 学部定員	⑤ 100km <sup>2</sup> 当 たり医師数 (18年)
滋賀県	108	85	140	110	72.9
京都府	353	274	264	210	167.3
大阪府	860	613	881	510	1,165.8
兵庫県	420	319	559	215	142.4
奈良県	130	78	141	105	79.9
和歌山県	109	74	102	95	56.0
鳥取県	70	30	60	90	48.4
島根県	95	37	73	105	28.9
岡山県	227	150	195	220	73.7
広島県	228	142	287	110	79.5
山口県	136	57	147	105	58.7
徳島県	84	49	80	105	56.7
香川県	100	64	101	105	135.9
愛媛県	127	68	145	105	59.9
高知県	86	38	78	105	30.6
福岡県	604	434	506	430	290.4
佐賀県	77	58	86	100	85.2
長崎県	154	68	145	105	97.1
熊本県	154	98	183	110	67.1
大分県	110	54	120	105	50.0
宮崎県	70	45	114	105	38.3
鹿児島県	143	68	173	105	44.0
沖縄県	175	140	137	107	130.3
計	11,563	7,735	12,777	8,566	75.8